

## 平成 27 年度第 2 回倉吉市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 22 日 (火) 午前 11 時
- 2 場 所 倉吉市役所 市民応接室
- 3 出席者 石田市長  
教育委員会 5 人  
福井教育長  
藤田委員 宮近委員  
仲田委員 福井委員

### 会 議 の 経 過

- 1 開 会 午前 11 時
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ

#### 4 協議事項

##### (1) 倉吉市立小・中学校の適正配置等について

学校教育課 (資料に沿って説明)

市長 皆さんも大体承知の状況であります。どういう風にこれから進めていくのかという事になろうかと思っております。スケジュール、今後の進め方とか、教育委員会としては 3 月に小学校適正配置推進計画案を出したいということですね。

教育長 教育振興基本計画の中に、この学校適正配置推進計画を一項目入れて別冊で出そうかと考えています。別冊の中には、今までの経過を載せ、これからの全体の案、今まで様々な意見をいただいた中でのものと考えて個々の具体案のスケジュールを示し財政的なものも示して、全体として次の課題をどうするか資料というような事で考えています。

市長 財政的な問題が前に出過ぎるとちょっと困る。財政的な効果というものも片方では説明しながらやっていく事も必要。このアンケートを見るとやはり統合が必要だと思われる理解がかなり進んできたのかなという感じはします。

委員 出席しておられる方がこういう形になってきたということは、やはり熟してきたのかなという感じはしますね。

委員 保育園の保護者との会はありますか。

教育長 保育園の連合会がありますので、各地区毎のアンケートは保育園の保護者の方にも出していると聞いております。北谷地区とかは、全体の意見を集約しておられ、やっぱり統合していくべきではないかというような声をまとめておられます。各地区の自治公民館でもやっぱり話をしていかなければいけないとい

うことで、高城地区でも各年代層の代表を集めて考える会を発足したということを知っています。成徳と明倫については、それぞれ耐震化を今していますので、耐震化したということは、学校統合はないのではないかなという風に思っておられる方もおられますが、なくなったのではないし、課題が解決したわけではないともう一度言っておかないといけないと思います。

市長 確かにそういう動きがあるかもしれません。新しい建物が立ち上がっていきますが、そこはきちっと説明しながらと思います。ここ1年2年ですというわけではないとしても進めていますということは言っておく必要があるでしょう。

高城・北谷・社の問題も含めて、もう少し詰めていく必要があると思います。成徳明倫はちょっととりあえず置いて、灘手・上小鴨を具体的にまとめてから具体策を考えていく必要があると思います。

教育長 今提案しているのは、灘手は社とどうですかと話をしておりますけども、その行先には中学校が久米中というところがありますから、それよりも本音としては、東中の方に（東中校区との統合）というご意見の方もあります。PTAの保護者が取られたアンケートによりますと、半数近くは統合をやむを得ず、ただ今の統合ではなくて東中の校区の方との統合の方がいいのではないかというのが、17%あったということを知っています。

市長 そこはあまりこだわらなくてもいいのではという気はするんですけど。今自体が久米・東中に行ってるんですから、それをしいて方向を変えないといけないというのはどうなのでしょう。社地区自体が東・西・久米（中学校に）に通学していますから。

教育長 灘手地区については、こちらが一つ提案しているのは、社というのはありますけども、それ以外に東中というのはどうですか。少し整理をしてこの場合はどうなのかをいくつか提案していくのかなと考えています。

市長 それは、3月に提案する中で示してもいいんじゃないですかね。

委員 東中なら明倫、成徳で、明倫にということですか。

市長 そこは二通りあるかもしれないですね。社が社に通いながら東中に行ってるということを見ると、灘手も社に行きながら中学校は東中という方法もあるかもしれません。

教育長 いろんな意見を擦り合わせながら整理していく必要があると思います。やはり中学校は東中というのが強い思いと感じます。

市長 久米中は規模が小さいから、少しでも増やしたい気持ちがあるのだけれども。

教育長 そうなると社地区の、和田、不入岡は非常に微妙な所で、社の会の時にはその地区の方は東中に行かせてほしいということをおっしゃっていました。

市長 今、社から東中に行ってるのはどこですか。

教育長 上神、寺谷、大谷茶屋、和田、和田東町、馬場町です。

市長 結構な数ですね。

教育長 バス路線の所は、ずっとですね。

市長 不入岡は、どうですか。

教育長 不入岡は久米と東中に行っています。

市長 両方あるのは、自由選択という事ですか。

教育長 一応通学区域の基準としては久米中ですけども、校区外就学で東中に通学されている方もおられます。

市長 就学指導委員会で認められるのですか。

教育長 校区外就学で認められて東中に通学されています。現実問題として久米中の方が遠いですし、特に女の子の場合は、男の子の場合自転車でさっと行けるんですけどちょっと人けのないところを通らなくてはいけませんので、バスの方が安全かというところがあります。社については、秋喜地区は西中に行かせてほしいという声が多いです。

市長 秋喜の人の気持ちはそうでしょう。目の前に西中があるのに久米中に通うとは思われないでしょう。

委員 小鴨小学校の校地拡張の話が出ていましたしね。民家を買収して広げるとかあるようですが。

教育長 確かに学校としてはバスの出入りとかありますので。

市長 買えるのであれば買ったらいいと思います。

委員 さらに増築があつたりもしますから。

市長 まああそこ行くといびつですね。角々民家がある。

教育長 是非市の方で買っていただくと教育委員会としては有難いですし、地域も喜ぶと思います。

市長 財源があれば買いやすいんだけど。統廃合と絡めて財源が確保できれば良いですが。分校とか学年分校とか議会でご意見があつたりしましたが、そういうのを使う余地があるんだつたら、暫定的にたとえば分校方法をやっていくっていうのも方法かもしれませぬ。

教育長 気持ちとしては分からない訳ではないですけど、ただ保護者の立場からすると兄弟で参観日にあっちこっちということもありますし、いつまでも続く制度ではないのではと思います。

市長 5年やってみてまた判断しましょうという方法もあると思います。それで理解が得やすいのであればステップのひとつとして踏むということもやり方としてはある。

教育長 分校の考え方についてですけど、成徳と明倫の場合ですね、学年分校という新しい考えがあり、岡山市の場合2校を統合する場合にある学年は分校の方にある学年は本校の方だという風に全部が両方を見るという経験をしている所があります。成徳と明倫に限れば徒歩で両方とも通えますのでそういう考え方もお互いがよく理解するためにはあるのかなと思います。

市長 距離はいくらありますか？成徳と明倫は。

教育長 2 km はないです。

市長 1 km ?

教育長 1 km 半ぐらいです。

委員 下米積から高城小学校まで 3 km ありますね。

教育長 市内全体から見ると非常に近いということになります。

市長 統合するけども学年ごとに校舎を分けてという形ですね。運動会は広いところですか。それもひとつあるかもしれませんね。コストはどうか。

教育長 コストはかかりますね。

市長 議会答弁でもコストが問題じゃないと言ったが、そこまで強調しなくても良かったかもしれません。

教育長 そういう意識も大事だと思います。

委員 社小学校の校庭も思ったより広くなかったですね。

教育長 狭いですね。

委員 溝があるところを広げたら。

委員 あれを迂回させてね。

委員 そして全部土手までもっていく。

委員 用水路が福光のほうからずっとある。

委員 ちょうどフェンス越しですね。

委員 校庭があって用水路があって田んぼがあって道路がある。

教育長 今案を出している高城・北谷の校舎を久米中校地内に建てるという案があります。これは非常に小学校として建てておいた方が小中一貫校となります。それは非常に難しい面もありますので分離して建てるのであれば、職員室なりそういったものが必要になってきます。それよりももう少し距離的には離れますが、スクールバスで行きますからスクールバスで行けば 3 分くらい乗れば、社に行きますので、そこに行けば教室棟の増築だけで済みますので基本的には随分と違いがあります。そちらの方がどちらかという対応がしやすい。

市長 教室棟を建てる場所ってというのは？

教育長 社小学校現校舎の手前の方に土地がありますのでそこでも可能ではないかと思えます。

事務局長 学校田として田んぼが 1 枚あります。

委員 中学校の再編としては、久米中学校が存続してくれるかどうか気になる場所ですね。

教育長 中学校も気になりますが、一応小学校が目安がついた段階で、中学校をどう考えるかについては振興基本計画の中で立ち上げようと思っております。

委員 高校の動きも出てくるでしょうからね。

市長 高校は広域的に考えるわけですが、小中学校だとあまりそこまで考える必要ないだろうと思えますけれど。

教育長 一番議論の初めになった一学級の適正規模が20人という数字は、中学校はまだもう14～5年までは下がりませんので議論からははずしてみたんですけども、ただやはり中学校になってくるとさまざまな部活動であるとか、そういったことの要望も結構あがってきてますので議論はしていかなくてはと思います。

市長 中学校はとりあえず置いておいて、上小鴨をどうするかですね。これも分校方式を取り入れてになるかもしれないですね。

教育長 児童数も90人の辺からは下がらないなと思っていたんですけども、この後ずっと推計を見ていくと60人くらいに下がっていくとあります。増える要素は、今のところちょっと無いので、そうなるのかなと思っているところです。上小鴨地区の方は反対の理由としては二つあります。ひとつは地域がさびれること、もうひとつは適正規模が果たして20人以上というのはそうではないのではないかということ。資料のアンケートにありますように、適正規模が何人かというところに10人から19人というのは実はクロス集計しますと地区毎に出てきます。

市長 上小鴨の参加者が一番多い38人ですね。

教育長 上小鴨地区の方で10人から19人と答えられた方が非常に多いということです。しかし60人ということは1クラス10人も満たないわけですから、その現実をどう考えるかということがあります。

市長 そこらへんを現実化するとまた変わってくる可能性もあるんだろうと思います。

教育長 どうしても、存続されたい方の気持ちとしては10人以下でも良いと思っておられます。

委員 少人数というのは今までが手厚くしていただいているというのがあって、小鴨小学校に行くと、大人数になり、手厚くしていただいた分が薄くなるのではと心配しておられる方が非常に多い感じがします。統廃合した場合に先生の数をひとりあたりに当てると少なくなることもあります。

市長 まあそれは当然です。

委員 そのような心配を結構聞きますので、統廃合したことで浮いた人件費類やいろんな費用が、そこに投入されてしっかり見てもらえるといったところをもう少しアピールしていけばという気はしますね。今まではしっかり見てもらっていたのに、先生の数が減り、自分ちの子供は見てもらえなくなるのではという心配を聞きますね。

市長 小さい学校は小さい学校のメリットっていうのがありますが、それだけでなくやっぱりでもトータルに見てどうなのかという事だと思うんですね。

そのあたりは理解していただかないといけませんね。

教育長 進めていく上で心配されている所を少しでも心配いりませんよと伝えていくことが大切ですね。例えば倉吉市の方の学校運営費を見てみるとやっぱり随分

と浮きますので、そこの浮いた部分をすべて教育費に持っていけるわけではないですけども、例えば配慮を必要とする子供達のための必要な教員の支援員を増やしましょうというような話を金銭面で説明していくことはあるかもしれませんね。

市長                   そこは必要な加配はすればいいと思いますね。

教育長               あとは地域がさびれると思っておられる部分をどう理解していただくかがあると思います。

市長                   それはどこかの意見で出ていたと聞いているけど、地域づくりは地域の皆さんの力で考えていかないと、学校があるからさびれないということは無いわけです。子育て環境としてみれば学校が近くに越したことはないですけど、だけどそれをスクールバスでカバーすれば差し支える支障はない。むしろきちっと教育のできる場があったほうがいいのではと思います。

教育長               例えば、上北条地区は小学校が河北小学校に行ったのに、上北条地区は無くなったかというところではないと思います。

委員                   ちゃんと祭りもありましたし運動会もありましたしね。今は若い親御さんも仕事でどんどん外に出ておられて親御さんの方が地域に居る時間が少ない。やっぱりそういう親御さん世代がいかにか地域と関わるかによって、その子供たちも地域と関わりができてきますので、親子で地域に関わり持たせるかが地域の腕の見せ所になると思うのですが、子供だけを見ているだけでなくその親も含めて地域とどんどん関わらせることをしていかないと、小学校がなくなる、なくならないの問題ではないですね。子供が地域の祭りに参加しないのは、その親も参加しないから参加しないというのはよくあります。そこも含めて地域の問題を小学生の子供だけ見るのではなくてその親世代もしっかりと取り込むことをしていかないといけないと多分小学校があるなしの問題ではないと感じています。

市長                   確かにそうでしょうね。あまりにも子どもに期待しすぎているのかもしれないですね。

委員                   先日参加した公民館の研修会でも、やっぱりきちっと自分の所の問題点の把握の仕方が甘いのだと思います。学校を理由の一つに持ち出すということは、もう少しシビアに、将来を展望して何が課題なのか突き詰めて地域が考えていかないといけないと思います。

市長                   確かに学校に頼り過ぎてはいけないんだと思うんです。統合したんだったらそこを生かしてどういう地域づくりが出来るのかということを考えていただく良いきっかけになるのではと思いますけどね。

委員                   中学校区の適正配置の説明会 5 箇所回りましたが、前と違って公民館長さんの意識がとても変わっておられて前向きな意見が最近聞けるようになりました。それは公民館長さんも意識を変えて地域を盛り上げていかなくては、地域の問題として考えてかなくて、学校とはまた違う感覚でというのを感じま

した。先程出ました公民館の研修会でも、講師の先生がお話しされましたが、問題点をさらけだして全部洗い出して、ほんとにどうしてたら、自分たちの地域を良くしていけるのか、真剣に考える時期に来ているのかなと思いますし、統合と一緒に考えれる良い機会になればと思います。皆さんの意見を聞くとそういう意見が多くなったというのを感じますのでとても良い事だなと思います。

市長 話しを積み重ねてきた成果が少しずつ出てきているのかもしれないね。

教育長 公民館の意識はどうですか？

生涯学習課 4月からですけども、意識して地域力をこれまでの学ぶだけではなくて、その学びを通じて地域を作っていくんだという意識に変えていこうと、この半年実践してきました。ただ学ぶだけではない学ぶ目的として地域づくりに生かしていくんだというスタンスを、公民館活動の中で少しずつ構築してる状況です。

教育長 例えば灘手地区では、自分たちで地域の子供たちを育てていくそういう体制は非常によくできており、別に小学校がなくてもやっていくと感じています。その意識は随分と高まってきています。上小鴨地区では上小鴨カルタを作って地域をこうしようということができています。そこに小学校が無くて「上小鴨学校」があるじゃないかと思うんですけどもね。

委員 子どもと関わるのは休みの日。児童生徒が休みの日しか地元の人間は関わることはできません。休みの日は子どもがいるのだから。

教育長 学校運営費自体26年度の分も見てみますと、大体ひとつの学校あたりで2200万くらい費用かかっていますので、これが5校無くなれば経費は浮くのかなと思いますけども、あとシュミレーションで統合した場合の人数を1.5倍でかけてみますと、それをそのままどう使うかというのがあって先ほども言ったような支援の充実のための費用に回すということも考えておりますけども、そうした財政的なものを議論のところで出すのはいいのかどうか、出すことで逆に反対意見もでてくるのかと思います。

市長 財政的な理由のために統合するののかという方向に行くこともあるのではということですね。

教育長 逆に財政的なこと言ってくれたら、納得するということもあるでしょう。

委員 最初からそういう議論で進めてはいませんから。

市長 こうすれば財政的にこうなりますよっていうのはお示ししてもいいのかもしれないけど、あまりそこを強調しすぎると財政的なことだけで議論するのかわかりますしね。

教育長 実は大規模校というわけではないですけども、2クラスある学校と1クラスと複式のある学校と小中大と考えると、大と小中とは2倍くらい一人当たり違います。大と小これは5倍違います。

市長 それは当然の話ですね。

教育長 そういったものも計算すれば出てしまうわけですけども、そういうことに議

論される保護者があります。そういうことをきちっと知らせるべきだと思います。

市長　　そういうことを聞かれたら答えられるようにはしておかないといけないけど、だからやるんですってというような方向になるのはどうかと思います。

教育長　　でも、そういう資料を置いておく必要はあると感じています。

市長　　聞かれたことに答えられるようにはしておかないといけないでしょうね。

教育長　　スクールバスについても経費は全部市の負担ではなく補助や交付金もあります。そういった仕組みのことも答えられるだけの資料も用意しておかなくてはと思います。

市長　　分校の問題もあるだろうし、今通っている子供たちの卒業までは何とかみるということもあるかもしれないし、今後の経過的措置の部分も含め、具体的に3月には計画をだしていくことが必要ですね。

教育長　　より具体的なものをお示しをして議論をするわけですけども、それをして計画を出して計画を進めていく上で、今度はその当事者同士の地域から人を選んでいただいて話し合う会、協議会をしたいと思いますけども、そのテーブルについてもらえるかどうか。テーブルについていただければ次の課題は見えてくると思います。関金小山守小の統合でその順路は示してありますから、逆にその場に入ったら関わり続けることになるのではという警戒心を抱かれてしまう可能性もあるなと思います。

市長　　全員が反対の方ばかりではないと思いますし、賛成の方にも入っていただいてしなくては。

教育長　　自主的にどうですかという形でずっと持ってきたわけですけども。

市長　　まずはそうなんでしょうけども、それに応じてもらえない時にはこちらから指名をしてお願いしていくことも考えていかなければならない。

教育長　　これはここまでのやってきたことの背景もありますから、教育委員会としてはこれを詰めていく責任もあるということについては、ひとつ協議会を設けたと思うので参加をお願いしますというような形ですね。

市長　　大まかな了解をいただきながら、進めていくということでしょうか。

教育長　　来年度は協議会の発足を目標にいく。学校教育課長さん関金と山守の時の決断された時の雰囲気はどうだったでしょうか。統合準備委員会を開きましようと言ったときの雰囲気はどうだったでしょうか。

学校教育課　　11月の考える会第3回だったと思いますが、そこの中でもう準備委員会に移行してはどうかというような話の中で、平成28年4月1日に向けての準備、統合準備委員会発足に向けてですねやろうやろうという状況になった時に、学校教育課としてそれぞれ組織に持ち帰って、再度確認する事はいいですかというようなことをちょっと言いかかったんですが、やろうやろうという雰囲気であったと思います。関金山守は少し特殊だったのは、先に保育園統合していて、その子達がまた分かれて関金山守に行く、山守に行く子は選んで関金でもい



い?というようなご意見もちよっとありまして、そしたら山守の新入生 2 人がなくなっちゃいますよというようなことも含めて、いや統合まではそれぞれの校区でやっぱり通いましょうというのが大原則ですよという中で、そういうことも踏まえて、それなら早め一緒に一緒になってやろうっていうような決断をされたのではと感じました。

市長 皆さんの気持ちが統合やむなし、というような状況になってたんでしょうね。そういう風になればいいんだけど。

教育長 そこで数が減るのを待つかという話になりますが、また、関金山守の両委員さんを既に統合されていた船上小学校を視察していただいたのは良かったですね。

学校教育課 そこを見られた時に 20 人とか 25 人になると、子どもに勢いを感じるような場面が非常に多くて、今のままだとかいう感じは無いよね、統合を取り組んでいくと、こんな感じに変わっていくのだと実感していただけた。やっぱり新しい学校、いい学校にしようという方向性が一つに合わされたのではと思います。

委員 あの時に視察された委員長さんが言われたように、やはり自分たちが普段見ている子どもは元気だと思っていたけど、それ以上に元気な子どもたちに会われ、今の学校の状況や子どもの数を見て子ども達のためにやっついこうと思ったとお話されていました。子ども達のためにという気持ちがあったので、スムーズに進んだのではと感じました。

市長 そういう流れに持っていければ一番いいですけどね。

教育長 百聞は一見にしかずで実際に見てもらったのは良かったですね。そこに見に行こうという所まで上手に引っ張っていったいかなくはとは思っています。

委員 せめて倉吉市内の学校公開の時にでも、市内の大きい学校を見てまわられたらそれだけでも随分違うと思いますね。上小鴨の保護者の方にお聞きした時、他の学校を見られたことありますか?って聞いたら、ないと言われて、自分の所しか見ておられないのでこれで十分じゃないかっていう考えをお持ちではと思います。私はおかげさまでいろんな学校見させてもらって大きい所の元気さとか、勢いはすごくいいなって思いますよとお話しました。見ていただくことで、意識が変わるのではと思います。自分の所だけで固まってしまわずに外に目を向けてもらうようないろいろな仕掛けができると保護者は特に意識が変わるかなって思います。

市長 そういうふうには仕向ける努力が必要でしょうね。

委員 訪問を受ける学校が負担にはなることもあるでしょうが、呼びかけられればバスもありますし、取り組めない事業ではないと思います。

教育長 1 月には話をさせてくださいということで灘手小と上小鴨小には申し込んであります。

委員 先程もはなしました公民館研修会には地区の振興協議会長も来ておられたで

すか？

教育長            そうですね、協議会長と、地区振興協議会の方も出席しておられました。

市長                このようなことでよろしいでしょうか。

教育長            一応3月には計画を出させていただきますけども一応案という形ですけども計画ということですが、これが最終案のつもりでいきたいなと思っています。

市長                方向を出して、あと暫定的な取り扱いで提示していく、そんな方向でいきましようか。統廃合はやはり必要なことであると集約したいと思います。その他はよろしいですね。ありがとうございました。

午前 11 時 5 0 分修了